

在宅医療介護連携協議会 研修部会

●令和4年多職種 BCP 研修会アンケート調査結果

全申込数：88人（内研修会65人 / 後日配信23人）

申込人数	65人	内 会場	5人	内 WEB	60人
当日参加者数	51人	内 会場	5人	内 WEB	46人
アンケート送付人数	61人	アンケート返信数	15人	回収率	24.5%
Youtube 配信申込数	23人	Youtube 配信アンケート	5人	Youtube 配信回収率	21.7%

○参加申込等連絡方法別

	入力フォーム	FAX	メール	その他（会場）
申込	38	27	0	0
アンケート	10	2	1	2
Youtube 配信申込数	23	0	0	0

・告知はMCSとFAXで行いました。

■職種

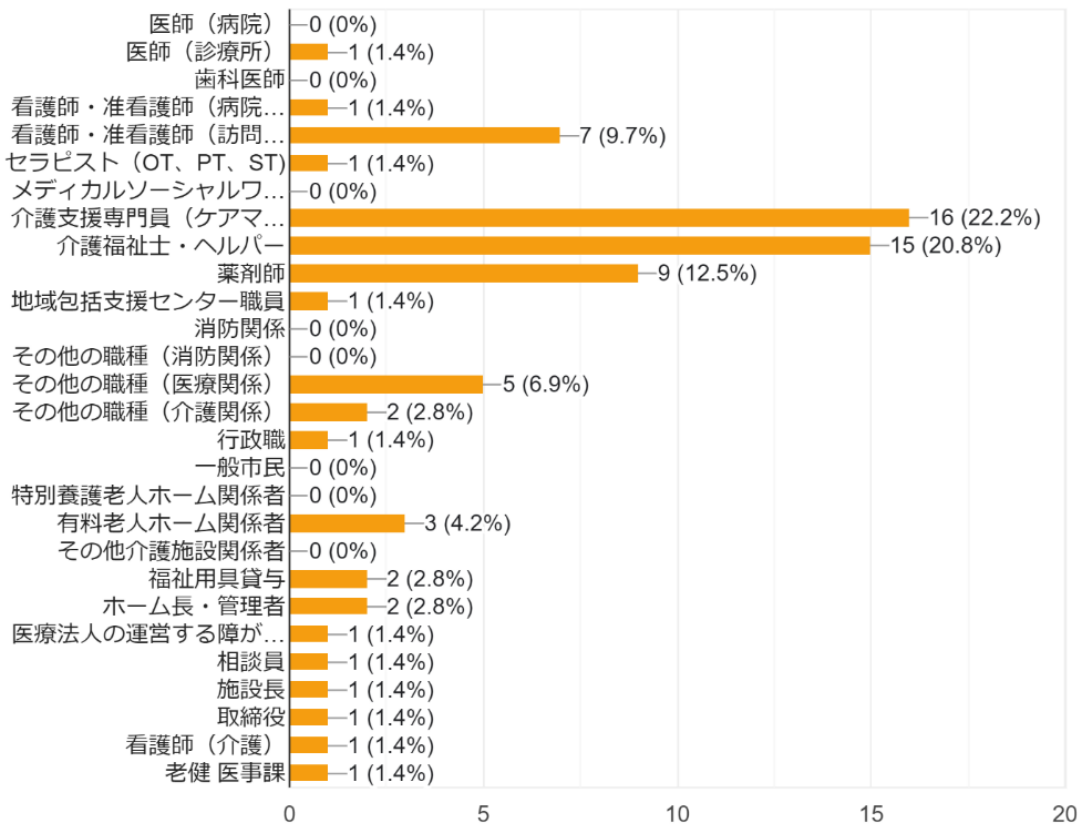
※ケアマネ、介護士の申込者が多いです。職種は重なりがあります。

○申込別

・参加申込人数

職種等（必須）

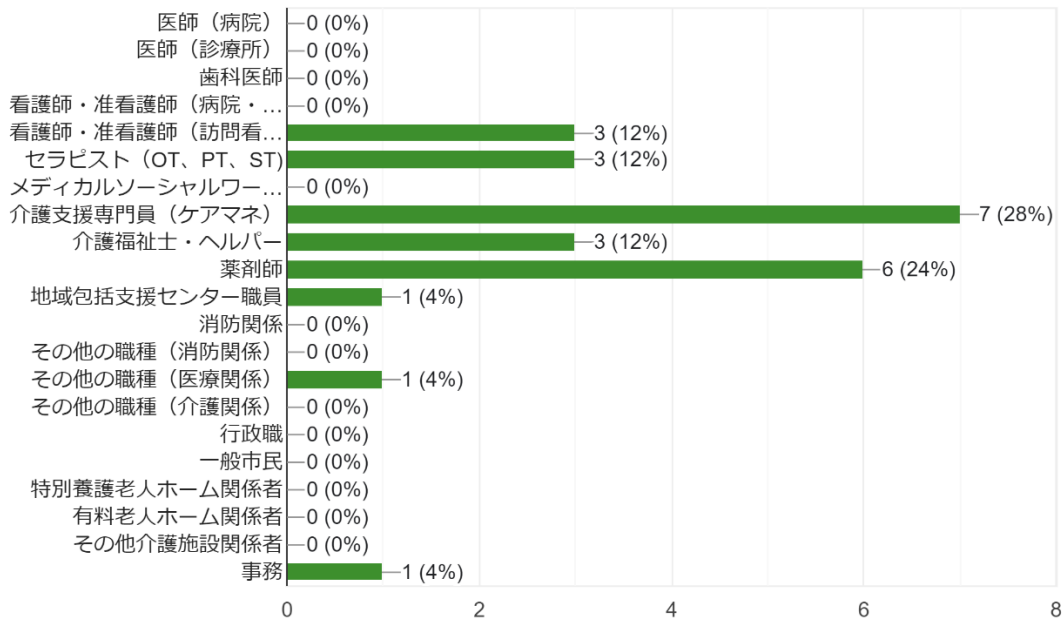
72件の回答



・Youtube 配信参加申込人数

職種等 (必須)

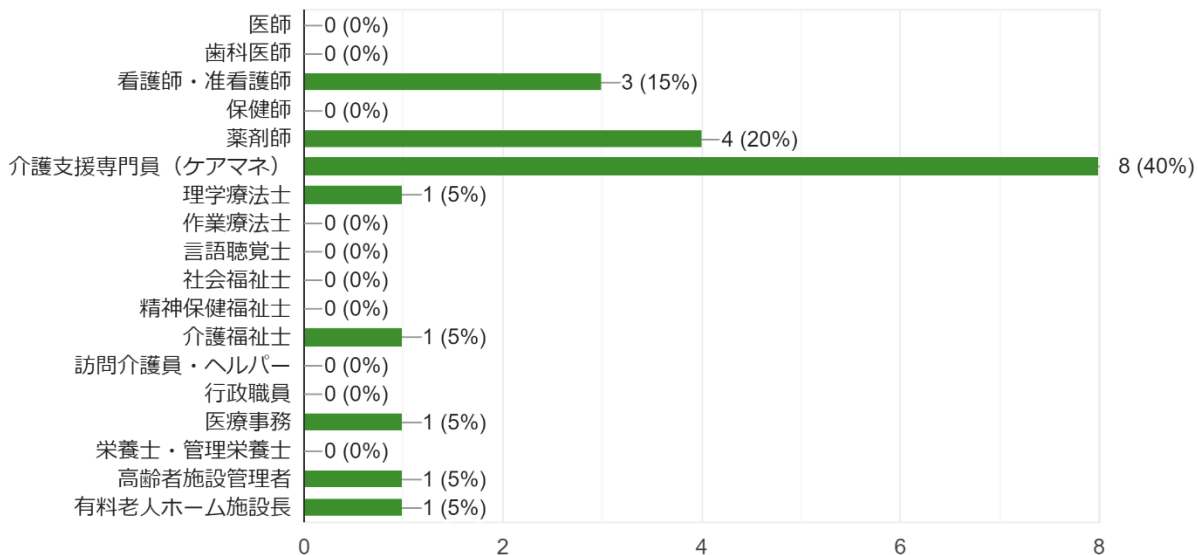
25 件の回答



○アンケート返信別(後日配信含む)

職種等 (必須)

20 件の回答



■申込時質問等

○事前質問

1. 事業所が対応したらよいアドバイス。
2. 災害があった場合、市がどのように市民を誘導するか等、動きを知りたい(安全なルートなど)
3. 市のどのような物資(食料など)の備蓄をどの位の量で確保しているか(場所も)

4. 事業所で対策や準備されていると便利なもの等があれば知りたい（おすすめセットとかどこで販売しているか、高齢者の食べれそうな保存食などの情報もあれば）
5. 災害が起きた時、市民への情報提供連絡方法。また、市民からの通報連絡方法。
6. 電気、ガス、水道が止まった場合の市民への援助体制。（仮説トイレ、水の供給等）
7. 通信が麻痺した場合の対策
8. 医療体制について（どういう体制になるか、対策本部はどこになるか）
9. ハザードマップで注意または知っておくと便利なことはあるか（どこがより安全か）
10. ・災害時、DMAT や DCAT、DPAT などの支援は県が判断されるかと思いますが、県への要請は三郷市から発信されるのでしょうか？

もし、このような支援が不要と判断された場合の三郷市の支援体制はどのようになっておりますか？

・また、災害ではどこの事業所も物品や人員など不足することが予測されます。BCP を考えるうえで、有事の際の三郷市内の現実的に行動できる行政・事業所間・市民等のネットワーク（公助・共助・互助）は構築されているのでしょうか？

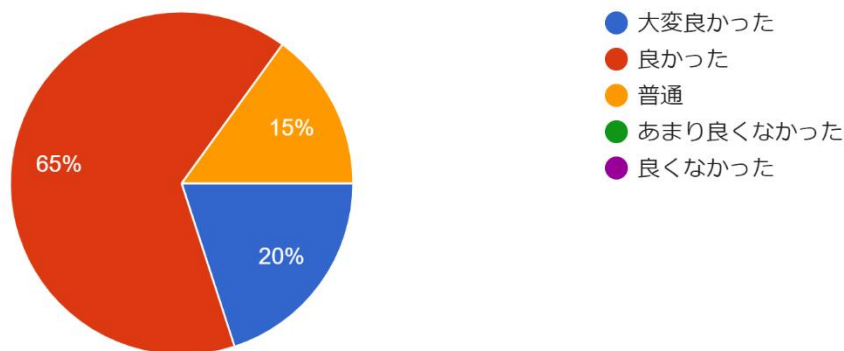
構築されていない場合、現時点での必要度・優先度はどのようにお考えでしょうか？

・各町会にて避難訓練は行われていますが、三郷市全域での同日大規模避難訓練などは考えていますか？例えば、5年に1回など、市内にある会社や学校、病院、施設、市民などを巻き込んで行える壮大な規模。

■「今回の研修についてどう思いましたか(5段階)」

今回の研修会について、どう思いましたか？（必須）

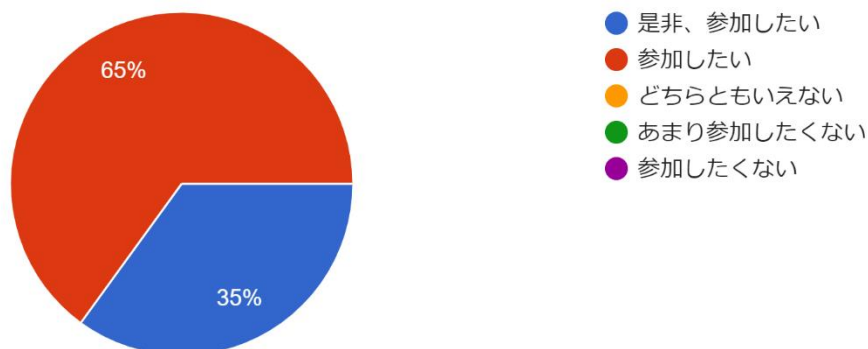
20件の回答



■「今後も在宅医療介護連携推進協議会研修部会の主催する研修に参加したいですか？」

今後もBCPに関する研修に参加したいですか？（必須）

20件の回答



■今回の研修会について、ご感想やご意見を教えてください

1. 講師の話は聞きやすかった。避難時期についてのタイミングが分かった。
2. 研修でメモを取りつつ拝聴いたしましたが、理解したい、利用したい内容が多くあり、メモが取り切れなかった。資料の配布を希望します。
3. 水害も川毎で浸水想定が異なることや浸水想定では道路冠水などは含まれない事など資料の見方が勉強になりました。全体を聞くと、あくまでも動くのは自分、自治体であり、その参考資料になるものや自治体では不可能なところを市や県が補うような印象でした。普段より、自分がいる範囲がどのような場所であるかを認識しておく必要があると感じました。お忙しい中、ありがとうございました。
4. 災害発生時の市の体制や災害関連情報の入手方法などが分かり易く 今後役立つものだと思います。また、普段見ることのない災害時の組織図を確認することができ要配慮者支援班が施設などの状況把握を行っていただけとのこと安心につながった。
5. 停電時、復旧するまでの最長 6 日間を人工呼吸器装着者が在宅避難を乗り切るのに準備をしていかなければならないと思いました。水害時に身動きが取れない方の対応が、特に不安が大きいです。
6. 住んでいる地域や働いている地域で災害が発生した際、どのような被害が出るのか、どう備えておくべきか、日頃から情報を取り入れ、いざという時にすぐ対応できるよう準備しておく必要があると改めて思った。
7. 今回の研修資料のように、一つの課題に対し、該当する項目ごとに抜粋されている資料があると全体把握ができる。三郷市の被害想定と対応がわかりやすく再確認することができました。ありがとうございました。
8. 三郷市民でもあるので動きも分かり、市が行う事、各町会で行う事、事業所で行う事の知識・理解が出来、ありがとうございました。
9. 分かりやすくてとても良かった。自分が不勉強であることを改めて気付かされました。
10. 三郷市の現状はもちろんですが、もう一步踏み込んだ内容のものを求めています。より実践向きの研修をお願いしたいです。
11. 説明が明確ではっきりしており良かったと思う。
12. 避難所の運営や防災情報架電サービスを知ることができ、今後の支援に繋がりたいと思います。独居高齢者は自分の避難所を知らなかったり、食料などの備蓄をする余裕もない方が多いので、市からの配布支援などが充実すると安心できると思います。
13. 定期的に行ってほしい
14. お話が聞き取りやすくわかりやすかったです。
15. 災害時の情報収集方法が知れてよかった。
16. 避難所運営や防災情報架電サービスなど知りませんでした。独居高齢者は、自分の避難所を知らなかったり、食品などの備蓄をする余裕がないので、市備蓄品の配布などの支援をして頂けると安心できると思います。

■今後、BCP研修として聞いてみたい事があればご記入下さい

1. 医療と介護事業所との連携について、グループワークでの検討など
2. 三郷市内のサービス事業所として、BCP 発動基準をどう設定しているのか等の実例を伴った研修や、机上の訓練の実施。
3. 最後の質疑の回答のように、実際に BCP を作成するにあたっての具体的な事例があると想像しやすいと感じました。
4. 実際の病院や施設などで BCP をどのように行っているかなどを知ることができれば有難い。
5. その時の最新情報、改定された情報があれば聞いてみたい。
6. 感染症が起きた場合、市・保健所などへの連絡体制と各対応について

7. 高齢、障害等で、避難に援護が必要な方を把握していると思うが、発災時に、どのような動き、流れ、情報提供がされるのか具体策を教えてください
8. 実際に災害が起こり、避難しなければならない時にリスクのある方々を具体的に避難所まで、また、避難所の中の過ごし方聞いてみたい。
9. 訪問看護師として在宅で暮らす方たち(高齢者・認知症の方)への支援、具体例など
10. 三郷市として避難場所へ行けない人に対してどう考えているか。避難場所までの移動の安全性などどう考えるか等
11. BCP がどういう意味合いなのか、漠然としてよく分からない所がある。計画書は策定済みであるが完璧でない為、計画書を作成する上で注意点などを知りたい。
12. 各自治会などで行っている具体的な防災活動を知りたいです。また、自治会だけでなく地域の医療機関や施設、企業などの防災への備えが実際にどの程度できているのか、聞いてみたいです。
13. 実際の避難から復旧方法までのシミュレーションを行うためのポイントを知りたい。
14. 各自治体の防災訓練などの準備状況や地域の病院、施設、企業がどの程度防災準備をしているか。避難行動要支援者支援制度について、実際に支援訓練をしているかなど、聞いてみたいです。

■今後、聞いてみたい講演や企画して欲しいディスカッション等があればご記入下さい

1. 医師会の災害マニュアルについて知りたい 呼吸器や医療機器を使用している人の災害時の避難等の対応について知りたい
2. SDGsを意識した各事業所や三郷市の取り組みについて、意見交換してみたい。
3. 私たちは認知症の方々の介護をしています。お一人お一人認知症のタイプが全く異なる為、介護のプロといえども戸惑うことが多々あります。実際に困った事やどう対応したらよいか等の事例を通して色々な意見を伺える機会があればと思います。
4. 「認知症世界の歩き方」という本が面白かったのですが、今までと少し違った視点での認知症の方への関りや支援について学びたいです。
5. 災害対策は引き続き、情報収集したい。また、実際に訓練を行った施設などの感想を発表の形でまとめ、BCP が机上の空論にならないようなブラッシュアップのできる研修などがあるとよい。職員 1 人 1 人の意識を植え付けるものにもつながる取り組みのヒントがほしい。
6. 「認知症世界の歩き方」という本が面白かったのですが、今までと少し違う視点での認知症の方への支援や、家族支援方法などについて学びたいです。